

sanada mystery 05

幸村は秀頼と共に薩摩落ち伝説

satsuma ochi densetsu

実は幸村は大坂夏の陣で戦死したのではなく、嫡男である大助と共に豊臣秀頼を伴って薩摩(鹿児島)に落ちのびたという伝説がある。これは幸村が多くの影武者を仕立て戦場をかく乱したという話と連動して生まれたものといわれている。ともあれ、何度も徳川家を追いつめた戦国時代のヒーローに、なんとか生きていて欲しいという民衆の思いが生んだ物語ではないだろうか。

花のやうなる秀頼様を、鬼のやうなる真田がつれて、退きものいたよ加護島へ

sanada mystery 07

今も人気の英雄たち! 真田十勇士と真田幸村

sanada jyuuyushi

真田十勇士とは幸村に仕えた10人のヒーローたちのことで、特に猿飛佐助や霧隠才蔵は有名だが、残念ながら全て架空の人物。江戸時代中期に書かれた小説に、幸村のヒーロー像が描かれ十勇士も登場する。これらが登場し受け入れられた背景には、長く続く徳川の支配に抵抗する民衆の憂さ晴らしがあったのかもしれない。最近の戦国ゲームのキャラクターでも幸村や佐助の人気は常に高く、時代を超えたヒーローであることに間違いはない。



ゲーム「戦国BASARA4 皇」に登場する幸村(右)と佐助(左)。©CAPCOM CO., LTD. 2015 ALL RIGHTS RESERVED.

sanada mystery 04

電光石火の早業? 雷封じの井

kaminari huuji no i

真田庵の境内にある井戸。真田屋敷に落ちた雷を、幸村が取り押さえて井戸に封じ込め、九度山の人々を救ったといわれている。そのためか井戸には今も重い石で蓋がされており、容易に開けることはできない。村人たちの幸村への憧れと信頼を思わせる伝説である。



sanada mystery 06

あえて戦場で目立つ 真田の赤備え

sanada no akazonae

幸村と言えば誰もが思い浮かべる「赤備(あかぞな)え」。大坂夏の陣の決戦当日、幸村率いる真田勢の出で立ち、のぼりや甲冑、旗指物など全てが赤一色に統一されていたという。戦場でも特に目立つ「赤備え」を何故幸村は選んだのか。武勇の象徴といえる「赤備え」により、幸村は自軍をより精強に見せるとともに、幸村を慕い命を賭して共に戦う兵達の士気を鼓舞していたのかもしれない。



道の駅「柿の郷くどやま」に展示されている幸村をイメージした赤備えの甲冑。

sanada mystery 01

幸村なんて実在しない? 真田信繁

sanada nobushi ge

「真田幸村(さなだ ゆきむら)」と広く知られているが実名は信繁(のぶしげ)という。直筆の書状だけでなく、生前の史料でも「幸村」の名が使われていたことは一切ない。「幸村」の名が見られるようになったのは、江戸初期に書かれた、「難波戦記」という書物が最初だといわれている。難波戦記の作者の創作なのか、そうでないのか? それさえもわからない不思議な武将なのである。

今も絶大な人気を誇る武将、真田信繁こと真田幸村。修験道に通じ、忍術を用い、敵方の武将にすら「日本一の兵」と呼ばれた、その本当の姿とは? 知ってほしいそうで知らない七つの伝説から探ってみよう。



7つの不思議? 真田伝説

sanada mystery 03

大坂城まで続いていた? 真田の抜け穴

sanada no nukana

真田庵近くにぽっかりと口を開けている穴。これは大坂城まで続いている、幸村たちはこの抜け穴を使って戦場へ出向いたという伝説が残っている。実は、4世紀頃の古墳で、真田の伝説にちなみ「真田古墳」と名付けられている。大坂城や真田丸にもこういった「抜け穴」伝説があり、幸村の持つミステリアスなイメージとよくマッチしている。



最近まで九度山町では本当に信じられていたそうで、かくれんぼのために穴に入ったら真田庵まで続いていたという「都市伝説」もあったとか。

sanada mystery 02

各国の情報収集? 真田紐

sanada himo

機織り機で織られた伸びにくく丈夫な平らな紐。九度山の真田家が作製し、各地で売り歩いたことから名付けられたといわれている。紐の販売を口実に各国の情報を集め、戦いに備えていたという説も。家康に一度は切腹を覚悟せしめ、敵将をして「日本一の兵」と言わしめた「真田」の戦いぶりが、丈夫で強い紐のイメージと合致し、その名が定着したのだろう。



実際に九度山町で売られている真田紐と真田紐を使ったストラップ。